

2023年1月18日  
株式会社三菱UFJ銀行

キリンホールディングス株式会社にて「トランジション・リンク・ローン」利子補給金型を成約

株式会社三菱UFJ銀行(取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup>半沢 淳一(以下、当行))は、キリンホールディングス株式会社(代表取締役社長 磯崎功典(以下、キリンホールディングス))との間で、ローン・マーケット・アソシエーション<sup>4</sup>等が定めた『サステナビリティ・リンク・ローン原則』ならびに、金融庁・経済産業省・環境省の定める『クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針』に即した、「トランジション・リンク・ローン」利子補給金型によるローン契約を本日締結いたしました。

本ローンは、キリンホールディングスのトランジション戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下、SPT)を設定して金利条件と連動させ、トランジション戦略の実現に対する動機付けを与えることで、社会における脱炭素化・低炭素化を促進させることを目的としています。

本ローン実行にあたっては、産業競争力強化法に基づく事業適応計画の認定を受けたため、成果連動型利子補給制度(カーボンニュートラル実現に向けたトランジション推進のための金融支援)が適用されます。また、経済産業省による令和4年度温暖化対策促進事業費補助金に採択され、補助金審査委員よりキリンホールディングスのトランジション戦略は非多排出産業のベンチマークになりうるとの評価を受けています。

(本契約の概要)

借入人	キリンホールディングス株式会社
借入額	500億円
借入実行日	2023年1月18日
借入期間	10年間
第三者評価機関	DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社
貸付人	株式会社三菱UFJ銀行
KPI	Scope1 と Scope2 における GHG 排出削減率(基準年度:2019年度)
SPT	Scope1 と Scope2 における基準年度対比 GHG 排出量の削減目標 ※経済産業省の利子補給制度に基づき、ローン期間中に複数の SPT を設定
ローン特性	SPT を達成した場合には、国からの利子補給により最大 0.2% の利下げ

キリンホールディングスは長期的な環境取組の方針として「キリングroup環境ビジョン 2050」を掲げており、気候変動対策においては“2050年までにバリューチェーン全体のGHG排出量をネットゼロにする”という目標を設定しています。

キリングroupの事業はグローバルなバリューチェーンで構成されるため多様なGHG排出源が存在しています。このバリューチェーン全体のGHG排出量ネットゼロを達成するためには、段階的移行(トランジション)が鍵となると考えており、トランジションロードマップを策定し運用を開始しています。

キリンホールディングスはトランジションへ向けた取組みをファイナンス面でも進めるべく、2022年3月に公表した「キリン・サステナブルファイナンス・フレームワーク」に、国際資本市場協会(ICMA)「クライメート・ト

ランジション・ファイナンス・ハンドブック」、金融庁・経済産業省・環境省「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針」(総称して、トランジション・ファイナンス関連指針等)並びに、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション(APLMA)、ローン・シンジケート・アソシエーション&トレーディング・アソシエーション(LSTA)によるサステナビリティ・リンク・ローン原則等における要素を新たに追加しております。

国内食品会社としてトランジション・ファイナンス関連指針等に適合したフレームワークを策定し、独立した第三者よりセカンド・パーティ・オピニオンを取得するのはキリンホールディングスが初の事例です。

なお、当行は産業競争力強化法における事業適応計画の策定支援を行いました。また、「キリン・サステナブルファイナンス・フレームワーク」の策定及びセカンド・パーティ・オピニオン取得に係るストラクチャリング・エージェントに三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社が就任し、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ(以下、MUFG)が一体となって支援しています。

◆キリングroup環境ビジョン 2050 については以下をご参照ください。

<https://www.kirinholdings.com/jp/impact/env/mission/>

◆キリン・サステナブルファイナンス・フレームワークについては以下をご参照ください。

[https://www.kirinholdings.com/jp/impact/csv\\_management/sustainable\\_finance/](https://www.kirinholdings.com/jp/impact/csv_management/sustainable_finance/)

◆セカンド・パーティ・オピニオンの詳細については以下をご参照ください。

<https://webmagazine.dnv.co.jp/797>

◆カーボンニュートラル実現に向けたトランジション推進のための金融支援については以下をご参照ください。

[https://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei\\_innovation/sangyokinyu/cnrishihokyu/index.html](https://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei_innovation/sangyokinyu/cnrishihokyu/index.html)

◆令和4年度温暖化対策促進事業費補助金については以下をご参照ください。

[https://www.meti.go.jp/policy/energy\\_environment/global\\_warming/transition\\_finance.html](https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/transition_finance.html)

MUFGは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義(パーパス)と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に60ヶ国以上約630機関が加盟。

以 上